

「先輩職員の声」

市長公室 政策企画室

事務職（情報） 大谷 悠介

（令和元年採用）



現在の自分の仕事

私は政策企画室 IT 活用推進担当に所属しており、情報システムに関わる様々な仕事をしています。庁内や各施設で使用する PC やシステムの管理や、庁内業務の効率化を目的とし、様々なシステムやツールの情報収集を行い、導入に向けて検討したり、市民サービスの向上を目的とし、オンラインで手続きが完結する仕組みの導入を検討したりしています。

和泉市を選んだ理由

前職では、システムエンジニアとしてシステム開発等を経験していました。その中で、和泉市の事務職（情報）の職員採用があることを知り、自分のこれまでの経験を活かしつつ、今後のステップアップができると考え、和泉市を志望しました。また、和泉市は自分が生まれ育った町と同じ泉州地域であり、身近に感じるところが多かったのも志望した理由の1つです。

実際に働いてみて

直接市民の方と関わる機会はあまりありませんが、庁内のほとんど全ての部署と関わりを持つ仕事です。多くの部署がシステムを利用している中、問い合わせがあった場合には、情報システムに関する技術的な知識も必要ですが、それを相手の立場になって考え、分かりやすく説明することが大切だと思っています。また、情報システム分野は日々進歩していますので、常に勉強の意識で業務に取り組んでいます。

仕事の面白さや和泉市の良さなど就職してみて感じること

市民の生活に大きく関わる多くの事業に携わることができ、やりがいのある仕事だと感じています。例えば、コロナ禍の中で、特別定額給付金やコロナワクチン事業など、市民の方が多く関心を寄せる重要な事業に携わり、効率的に業務を進めるための事務の流れを考えたり、システムやツールを選んだりしました。実際にスムーズに、かつミス無く事務が進められた際には、達成感を得ることができました。

これから和泉市を受験しようと思っている人へのメッセージ

市役所の仕事は多岐に渡り、どの仕事も市民の生活に欠かせないものであり、非常にやりがいのある仕事だと感じています。最初のうちは分からないことだらけだと思いますが、上司や先輩職員が丁寧に教えてくれますので、失敗を恐れず、何事にも積極的に取り組むことで、自分自身が大きく成長できると思います。このメッセージを読み、和泉市での仕事に興味を持っていただけたなら嬉しく思いますし、これも何かの縁だと思いますので、和泉市をより良いまちにするために、将来一緒に働けることを楽しみにしています。